

令和4年 第4回定例会

一般質問文書表

稲城市議会

通告番号	氏名	質問項目 (18人、60項目)	備考
1	北浜 けんいち	1 市立公園と体育施設の指定管理者制度の見直しについて 2 今後の50年に向けて稲城市が取り組むべき課題について	
2	山岸 太一	1 「負担増」と「利用抑制」の制度改悪ではなく、誰もが安心して利用できる介護保険制度に向けて 2 物価高から市民の暮らしと子育てを守る市長の認識について 3 安心して住み続けられるまちづくりとしての平尾団地再生について 4 社会インフラとして地域の買い物拠点を守っていくことについて	
3	つ の じ 寛 美	1 自殺対策の更なる強化について 2 生物多様性いなぎ戦略の推進について 3 0～2歳児の子育てをする保護者の支援について 4 シェアサイクル事業の拡充について	
4	坂田たけふみ	1 風水害時における指定避難所の運営について 2 学校プール開放事業について 3 発達障害等の児童・生徒への支援について	
5	市瀬 ひさ子	1 重層的支援体制整備事業について 2 伴走型相談支援に伴う体制づくりと職員体制の強化について 3 がん検診受診率の更なる向上を目指して 4 市立病院における更なるデジタル化の推進について	
6	角田 政信	1 榎戸土地区画整理事業をはじめとした矢野口地区のまちづくりについて	
7	岩佐ゆきひろ	1 城山公園交差点信号機の右折信号の設置について 2 防犯の取り組みについて 3 既存品の中学校制服導入について	
8	村上 洋子	1 オーガニック給食の推進について 2 「東京都パートナーシップ宣誓制度」のスタートと、多様な性を認め合う施策の推進について 3 暴力防止プログラム「CAP」をすべての子ども、保護者、教員等が受講できるようにすることについて	
9	川村 あや	1 コロナ禍での体力低下および運動不足解消・改善について 2 不妊症および不育症への支援について 3 空き家・空き店舗を活用した地方創生の推進について	
10	岡田 まなぶ	1 新型コロナ第8波から市民の生命を守る取り組みについて 2 国民健康保険税の値上げを抑える取り組みについて 3 若葉台駅構内エスカレーター設置、ホームドア設置等について 4 補聴器購入助成など高齢期の聞こえの支援について 5 小中学校特別教室へのエアコン設置について	
11	武田 まさひと	1 市役所や市立病院のサイバー対策について 2 稲城市立病院のWi-Fi整備について 3 太陽光パネルの廃棄処分について	
12	佐藤 しんじ	1 不登校支援について 2 学校給食を通じた、食事への関心の向上について	

13	梶浦みさこ	<ul style="list-style-type: none"> 1 日本伝統文化「将棋」の振興について 2 文化芸術活動のさらなる振興とパブリックアートについて 3 稲城市立病院へのサイバー攻撃など医療情報セキュリティ対策の強化について 	
14	中田中	<ul style="list-style-type: none"> 1 アダプト制度について 2 小中学校で「いじめ」が発生した時の対応について 3 一時預かり保育の対象年齢について 4 災害用炊飯袋について 	
15	田島きく子	<ul style="list-style-type: none"> 1 生理の貧困について 2 小中学校における教育相談について 3 市施行土地区画整理事業について 4 少人数学級の推進について 5 気候変動と再エネ・省エネ推進について 	
16	いそむらあきこ	<ul style="list-style-type: none"> 1 稲城市シルバー人材センターについて 2 幼稚園バスの安全対策について 3 学校でのマスク着用と黙食の緩和について 4 インクルーシブ公園について 	
17	榎本久春	<ul style="list-style-type: none"> 1 稲城第二中学校の校舎改修工事の現状と周辺環境の変化に伴う歩道の整備状況について 2 市内の落書き対策について 3 「介護予防・日常生活支援総合事業」の一般介護予防事業の自主グループとフレイル対策について 	
18	鈴木誠	<ul style="list-style-type: none"> 1 防災に関する稲城市の取り組みについて 2 稲城市における私学教育への関わりについて 3 公共施設運営の民間委託化について 4 平尾団地の今後について 	

通告番号	会 派 名	氏 名
1	新政会	北浜けんいち

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>市立公園と体育施設の指定管理者 制度の見直しについて</p> <p>市は、市立公園と体育施設の指定管理者制度の見直しに向けて、民間事業者から幅広く提案を募る「サウンディング型市場調査」を実施し施設利用者の利便性の向上や現状の課題解決に向けて新たに取り組みを始めています。</p> <p>そこで、市立公園と体育施設の指定管理者制度について市の見解を伺います。</p> <p>(1) サウンディング型市場調査の内容について伺います。</p> <p>(2) この手法を取り入れた目的について伺います。</p> <p>(3) 現在の市立公園及び体育施設の指定管理の状況について伺います。</p> <p>(4) 対象とする施設について伺います。</p> <p>(5) 今後のスケジュールについて伺います。</p> <p>(6) ネーミングライツも課題にすべきと考えるが、見解を伺います。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
2	<p>今後の 50 年に向けて稲城市が取り 組むべき課題について</p>	
	<p>昨年、稲城市は市制施行 50 周年を迎えました。この間、長期的視野に立ち、都市基盤整備を進め、稲城大橋、JR 南武線の高架化事業や、尾根幹線の整備等により、慢性的な渋滞が緩和され、都市を形成する上で重要な根幹である交通の利便性が高まり、住みやすい街として評価され、人口も増加傾向にあります。</p>	
	<p>そこで、今後の 50 年に向けて市が取り組むべき課題について見解を伺います。</p>	
	<p>(1) 都市基盤整備について</p>	
	<p>(2) 教育について</p>	
	<p>(3) 福祉について</p>	
	<p>(4) 医療について</p>	
	<p>(5) 防災について</p>	
	<p>(6) 50 年先を見据えた中での第五次稲城市長期総合計画の進め方について</p>	市長答弁

通告番号	会 派 名	氏 名
2	日本共産党	山岸太一

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>「負担増」と「利用抑制」の制度改悪ではなく、誰もが安心して利用できる介護保険制度に向けて 次の介護保険事業計画に向けて国の検討が進んでいます。具体的な検討内容が明らかになる中で、関係団体や当事者団体から軒並み反対の声が上がる異例の事態となっています。負担増と利用抑制に反対し、誰もが安心して利用できる介護保険制度を求める立場から質問します。</p> <p>(1) 負担増と利用抑制の中身について ①令和4年10月31日「第100回社会保障審議会介護保険部会」で示された7つの論点の内容を聞きます。 ②同部会で2人の委員から提出された「要望」の内容を聞きます。</p> <p>(2) 次期の介護保険事業計画について ①第9期介護保険事業計画の策定・検討状況について聞きます。 ②これ以上の負担増と利用抑制ではなく、誰もが安心して利用できる介護保険制度にしていくことについて認識を聞きます。</p>	
2	<p>物価高から市民の暮らしと子育てを守る市長の認識について アベノミクスの失敗による異常な円安がかつてない物価高をまねき、市民の家計と生活に大きな負担をもたらし、将来不安が広がっています。国政でも市政でも市民の暮らしと子育てを守る政治の実現を求める立場から、市長の認識について質問します。</p> <p>(1) 物価高の状況について ①帝国データバンク「『食品主要105社』価格改定動向調査」による10月・11月の値上げ品目数について聞きます。 ②直近の消費者物価指数について聞きます。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
3	<p>(2) 市民のくらしと子育てを守る市長の認識について</p> <p>① 現在の物価高が市民の生活に与える影響について、市長としての認識を聞きます。</p> <p>② 日本共産党は物価高からくらしと家計を支えるために消費税の減税、賃金の底上げ、医療や教育の負担軽減を求めているが、これらの対策を国に求めるべきと考えるが市長の認識を聞きます。</p> <p>③ 日本共産党稲城市議団は物価高の中で市民のくらしと子育てを守るためにゴミ袋代の値下げ、学校給食費ゼロ(無償化)、高校卒業までの医療費ゼロ(所得制限なし)を提案しているが、これらの施策の実施について市長の認識を聞きます。</p> <p>3 安心して住み続けられるまちづくりとしての平尾団地再生について 平尾団地の建て替えに向けて新たな事業スケジュールやコンセプト図案なども明らかになっています。住民と市が共同しながら、住み続けることのできるまちづくりを行うことを求める立場から質問します。</p> <p>(1) 今後のスケジュールについて</p> <p>① 「平尾団地再生基本構想図」の検討・作成状況について聞きます。</p> <p>② 「建て替え決議」の実施時期について聞きます。</p> <p>(2) 住民と市の共同の構築について</p> <p>① 管理組合に提案している「平尾団地の再開発に関する『協定書』」の位置づけと内容について聞きます。</p> <p>② 「平尾団地建替事業に伴う街づくりコンセプト」図案について市としての認識を聞きます。</p> <p>③ 建て替え補助事業の実施について認識を聞きます。</p>	<p>市長答弁を 求める</p> <p>市長答弁を 求める</p> <p>市長答弁を 求める</p>

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
4	<p>社会インフラとして地域の買い物拠点を守っていくことについて</p> <p>平尾団地商店街スーパーヤマザキの突然の閉店は地域に大きな不安と混乱をもたらしました。事業者任せにしないで、市の役割として買い物拠点を守っていくことを求める立場から質問します。</p> <p>(1) 平尾団地商店街スーパーヤマザキの閉店について、市としての状況把握からその後の対応までの経過について聞きます。</p> <p>(2) 地域の買い物拠点の維持について、市としても責任を持って対応していくことが必要だと考えるが認識を聞きます。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
3	公 明 党	つ の じ 寛 美

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>自殺対策の更なる強化について</p> <p>「誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現」に向け、政府は10月14日、自殺対策の指針となる新たな「自殺総合対策大綱」を閣議決定しました。今回の大綱には、公明党の主張が随所に反映されています。公明党の社会的孤立防止対策本部と自殺防止対策プロジェクトチームが5月17日、政府に申し入れた緊急提言に盛り込まれました。</p> <p>(1)市内の3年間の自殺者数</p> <p>(2)こころの体温計の3年間のアクセス者数</p> <p>(3)国の自殺対策としての新たなポイントを伺います。</p>	
2	<p>生物多様性いなぎ戦略の推進について</p> <p>稲城市の生きものの多様性を守り・育て・活かすためのものです。生きものの多様性についての稲城市の考え方を示すとともに「生物多様性とは何か」という事を広く知ってもらう事を目的に策定しています。</p> <p>(1)現状について伺います。</p> <p>(2)SDGsを踏まえた今後の取り組みについて伺います。</p>	
3	<p>0～2歳児の子育てをする保護者の支援について</p> <p>国の総合経済対策として、これまで比較的手薄だった妊娠期、0～2歳児の子育て支援として、伴走型相談支援と妊娠・出産時に計10万円相当を給付する経済的支援が盛り込まれました。</p> <p>(1)市の現状支援について伺います。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	(2)国の現状について伺います。	
4	シェアサイクル事業の拡充について	
	公明党が推進した自転車活用推進法が成立し、施	
	行されてます。環境面や観光面、健康面において	
	も効果のある、稲城市を回遊するシェアサイクル	
	事業が実現をされ、また、東京2020オリン	
	ピック・パラリンピック1周年を記念して自転車	
	ロードレースレガシーサイクリングが開催され	
	て「自転車のまち稲城」に拍車がかかりました。	
	(1)状況について伺います。	
	(2)今後の取り組みについて伺います。	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 用
2	<p>学校プール開放事業について</p> <p>市内公立学校の夏季休暇期間中に、各地域の振興会が行っている学校プール開放事業は、誰もが気軽にプールを利用できるため、広く市民に利用されていますが、近年コロナ禍の影響により実施できない地域が多くあると聞きます。そこで、今後の学校プール開放事業の在り方について伺います。</p> <p>(1)学校プール開放事業の現在の実施状況について、実施している小学校や地区体育振興会、コロナ禍以前の直近3年間の各プールの利用人数について伺います。</p> <p>(2)学校プール開放事業を行っている地区体育振興会に対する市補助金について伺います。</p> <p>(3)学校プール開放事業の実施主体について、市の認識を伺います。</p> <p>(4)事故やケガがあった場合の責任の所在について伺います。</p> <p>(5)今後の学校プール開放事業に対する市の考え方について伺います。</p>	
3	<p>発達障害等の児童・生徒への支援について</p> <p>市内全小中学校には、それぞれの児童・生徒の発達に応じた学びが受けられる場として、すまいるルームが設置されています。</p> <p>現在では、児童・生徒の個々の特性に応じた教育や、様々な支援を必要とする教育の機会を提供する事が求められています。</p> <p>そこで、発達障害等の児童・生徒に対する支援について伺います。</p> <p>(1)特別支援教室の役割について伺います。</p> <p>(2)自閉症・情緒障害特別支援学級の役割について伺います。</p> <p>(3)自閉症・情緒障害特別支援学級の設置に関する市の認識について伺います。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
5	公 明 党	市瀬 ひさ子

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>重層的支援体制整備事業について</p> <p>令和3年4月1日「重層的支援体制整備事業」が創設された、改正社会福祉法が施行されました。子ども・障がい・高齢・生活困窮といった分野別の支援体制では対応しきれない、複雑化・複合化した支援ニーズに対応するため、市町村において既存の相談支援等の取り組みを活かしつつ、包括的な支援体制を構築していく事業であると認識しています。この新たな事業は手上げに基づく任意事業ではありますが、稲城市における当事業の早期実施に期待するところです。</p> <p>(1)市における当事業に対する認識について伺います。</p> <p>(2)現状及び今後の取り組みについて伺います。</p>	
2	<p>伴走型相談支援に伴う体制づくりと職員体制の強化について</p> <p>本年10月28日に決定した政府の総合経済対策には、公明党が推進する特に支援が手薄な0歳から2歳の低年齢期に焦点を当て、妊娠時から出産・子育てまで一貫した「伴走型相談支援」が打ち出されました。稲城市では令和2年12月1日に、おやこ包括支援センターを立ち上げ、健康課と子ども家庭支援センター課の連携による、子育て世代包括支援センターとして取り組みを推進されています。そのきつ</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>かけが保健師による妊婦面接であり、安心して子どもを産み育てられる環境整備が進められていると認識しています。今後、複合的な相談対応等の増加も予想されることから、保健師や精神保健福祉士等を含む、職員の人材確保と更なる育成の場づくりは重要であると考えます。</p>	
	<p>(1) 福祉部・子ども福祉部における正規職員及び第1種会計年度任用職員について、福祉分野の資格を有する専門職の配置状況について伺います。</p>	
	<p>(2) 複合的な問題を持つ様々な家庭への支援が必要となる中で、母子保健だけではなく複合的な相談にのれる体制づくりについて、おやこ包括支援センターではどのように取り組んでいるのか伺います。</p>	
	<p>(3) 人口増加や複合化した支援ニーズ等に対応する職員の業務負担は大きいと考えます。特に福祉分野で必要な有資格者を含めた人材の確保と育成に向けた取り組み等について市の見解を伺います。</p>	
3	<p>がん検診受診率の更なる向上を目指して日本人の2人に1人は生涯のうちに何らかのがんに罹り、3人に1人が亡くなると言われている中で、がんを正しく知り、生活習慣や生活環境を見直すがん予防、また早期発見・治療につながるがん検診の受診は、市民が実行できるがん対策として重要です。一方稲城市においても市民の命を守るため、がん検診受診率の向上を目指した様々な取り組みが進められています。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>(1) コロナ禍における令和2年度、及び令和3年度の各がん検診の受診率について伺います。</p> <p>(2) コロナ禍におけるがん検診の取り組みについて伺います。</p> <p>(3) 神奈川県相模原市では、市や職場のがん検診受診促進に積極的に取り組む企業や団体を市のパートナーとして登録し、相模原市のがん検診の受診率アップに向けた啓発活動に協力する、「相模原市がん検診受診促進パートナー制度」を立ち上げています。稲城市においても同様の取り組みを導入することについて市の見解を伺います。</p>	
4	<p>市立病院における更なるデジタル化の推進について市立病院健診センターでは、令和3年3月1日より自動音声応答システムが導入され、また本年10月1日からは、個人申し込みの人間ドックとインフルエンザ予防接種のWeb予約の受付が開始されました。市民サービスの向上と職員の業務負担の軽減等につながる重要な取り組みであることから、更なるデジタル化の推進に期待するところです。</p> <p>(1) 人間ドック等の総合判定や画像、お薬や血圧等のデータをいつでもスマートフォンで見ることが出来る健康診断アプリがあります。アプリの導入により、紙やインク等の経費節減と職員の業務負担の軽減にもつながるとともに、利用者にとっては、救急時や災害時等他の医療機関で診察を受ける場合にも、より継続性のあるサービスを受けることが可能となります。健康診断アプリ</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
7	改革稲城の会	岩佐ゆきひろ

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>城山公園交差点信号機の右折信号の設置について</p> <p>(1) 城山公園交差点の右折信号の設置について多摩中央警察署に要望しておりますが具体的にいつから要望していて、進捗状況はどのようなになっているのかがいます。</p> <p>(2) 城山公園交差点は交通量が多く右折が困難な為、過去数年にわたり交通事故の危険が絶えない場所であります。今後どのような要望をしていくか、また市としての安全対策をうかがいます。</p>	
2	<p>防犯の取り組みについて</p> <p>(1) より安心安全なまちづくりをしていくうえで地域防犯対策の強化は欠かせないと考えますが、市としてどのような取り組みをしているのかがいます。</p> <p>(2) 稲城市内の刑法犯認知件数について以下の点についてうかがいます。</p> <p>① 令和元年・令和2年の市内刑法犯認知件数 ② 昨年の市内刑法犯認知件数 ③ 本年、現時点での市内刑法犯認知件数</p>	
3	<p>既存品の中学校制服導入について</p> <p>(1) 昨年度には三重県鳥羽市立中学校、今年度にはさいたま市立大宮北高等学校がユニクロの既存品を制服に採用しており、今後も拡大していくと考えますが教育委員会の見解をうかがいます。</p>	

通告番号	会派名	氏名
8	市民クラブ	村上洋子

項目番号	質問要旨	摘要
1.	<p>オーガニック給食の推進について</p> <p>「オーガニック給食」を求める市民の活動がここ数年の間に、世界でも国内でも非常に活発になっています。</p> <p>世界ではイタリア、フランス、ブラジル、韓国のソウル市などの取り組みが広く紹介され、国内でも、千葉県いすみ市、愛媛県今治市、石川県羽咋市、熊本県山都町、長野県松川町、そして東京都武蔵野市でもオーガニック給食の取り組みを始めています。</p> <p>このような中、農水省は2021年5月、「みどりの食料システム戦略」を打ち出し、2050年までに化学肥料の使用を30%減らし、耕地面積に占める有機農業の面積を25%（100万ヘクタール）に拡大することなどを目標に掲げ、安定した消費先のひとつとして学校給食を挙げ、補助金総額も1億5000万円へと5割アップしています。</p> <p>日本の有機認証制度の基準は厳しいものですが、必ずしもこれ等全ての基準を満たしていなくても、少しでも農薬や化学肥料の使用を減らし健康な土壌で生産しようと努力している生産者や、生産方法が明らかな市内産農産物など、市独自の判断基準で質の良い食材を確保し、段階的にさらに質の向上を目指す取り組みは可能です。</p> <p>すべてを一度に変えることはできませんが、毎日の給食の1食からでもオーガニックに変えていくことは可能です。</p> <p>食べ物は体をつくる基本であり、子どもたちができるだけ体に良いものを食べて、健康に育って欲しいという思いはすべての市民の共通の願いです。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>市内では、2020年の11月に映画「いただきます～ここは、発酵の楽園」の上映会が開催されました。</p> <p>その中で、オーガニック給食を取り入れた保育園の園長さんが、「子どもたちの基礎体温が上がって、風邪でお休みする子どもが減りました」と語っていました。</p> <p>新型コロナ感染症は3年にもわたり私たちの生活に暗い影を落としています、新たな感染症はまたいつか発生するだろうとも言われています。</p> <p>そのような状況においては、豊かな土壌で育ったミネラル豊かな食材や、味噌などの伝統的発酵食品を十分に取り、腸内細菌を整えて病気に強い体をつくるのが、遠回りなようで、最も確実に効果があると考えます。</p> <p>稲城市においても、オーガニック給食の推進に全力で取り組んで頂くことを求めて質問いたします。</p> <p>(1) 稲城市において、市民からのオーガニック給食の要望がこれまでにあったかについて、また、オーガニック給食が子どもの健康に寄与する影響について市の認識を伺います。</p> <p>(2) 安心安全な学校給食の食材確保のために、稲城市がこれまでに取り組んできた事について伺います。</p> <p>(3) 市内産農産物の給食への活用状況と補助金等について伺います。</p> <p>(4) 学校給食の食材のうち主食、調味料、農産物で使用量の多い主な食材について伺います。</p> <p>(5) オーガニック給食の推進のための今後の取り組みについて伺います。</p>	市長答弁を 求める

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
2.	<p data-bbox="304 277 1241 450">「東京都パートナーシップ宣誓制度」のスタートと、多様な性を認め合う施策の推進について</p> <p data-bbox="304 524 1241 622">2022年11月1日より、「東京都パートナーシップ宣誓制度」がスタートしました。</p> <p data-bbox="304 640 1241 846">この制度によって、何が変わるのか、自治体として成すべきことは何かについて明らかにし、多様な性を尊重し認め合う市民意識の醸成を推進すべきと考え質問いたします。</p> <p data-bbox="304 909 1241 994">(1) 「東京都パートナーシップ宣誓制度」の概要と制度新設の経緯について伺います。</p> <p data-bbox="304 1055 1241 1140">(2) 稲城市職員の福利厚生について「東京都パートナーシップ宣誓制度」に即した対応を検討されているか伺います。</p> <p data-bbox="304 1200 1241 1330">(3) 稲城市立病院の患者対応と職員の福利厚生について「東京都パートナーシップ宣誓制度」に即した対応を検討されているか伺います。</p> <p data-bbox="304 1391 1241 1520">(4) 都営住宅の募集について「東京都パートナーシップ宣誓制度」の運用により、申し込みが可能になりますが市民への周知はどのように行っていくのか伺います。</p> <p data-bbox="304 1581 1241 1756">(5) 「東京都パートナーシップ宣誓制度」の内容について、市としても積極的に市民に周知し、多様な性を尊重し認め合う意識の醸成を推進すべきと考えますが、市の認識を伺います。</p> <p data-bbox="304 1816 1241 1901">(6) 「東京都パートナーシップ宣誓制度」の学校での周知と、多様な性を尊重し認め合う取り組みについて伺います。</p>	

項目 番号	質問要旨	摘要
3.	<p>暴力防止プログラム「CAP」をすべての子ども、保護者、教員等が受講できるようにすることについて</p> <p>CAP プログラムとは、Child Assault Prevention という子どもへの暴力防止の頭文字をとった略称です。</p> <p>1978年アメリカで誕生し、日本では、1995年頃から普及しました。</p> <p>子どもたちに「安心（あんしん）」「自信（じしん）」「自由（じゆう）」の権利があることを伝え、あらゆる暴力から、自分で自分の身を守るために何ができるかについて、ロールプレイを交えながら考える暴力防止のための予防教育プログラムです。</p> <p>いじめ・虐待・体罰・誘拐・痴漢・性暴力など様々な暴力から自分の心とからだを守るために、大変分かりやすく効果的なプログラムです。</p> <p>CAP プログラムは「教職員や子どもと接する専門職員などを対象としたワークショップ」「保護者や地域のおとなを対象としたワークショップ」「子どもワークショップ」の3つで成り立っています。</p> <p>いずれもワークショップ（参加型学習）形式をとっています。知識を中心に教え込む従来の学習形態と異なり、参加者が主体的に取り組み、自ら考え、意見を述べ、ロールプレイ（役割劇）に参加する方法で進んでいきます。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>CAP ワークショップの特徴は、</p> <p>第一に、人権意識を育てること。生きるために必要な安心・自信・自由の3つの権利について学び、自分がかげがえのない存在である事を知り、自分を守る力にします。</p> <p>第二に、エンパワメント、問題解決能力を引き出すこと。役割を演じるロールプレイや話し合いを通じて、子どもたちがもともと持っている「内なる力」を引き出し、行動の選択肢を増やします。</p> <p>そして第三に、家庭・学校・地域をつなぎ、子どもをサポートする地域の力を豊かにすることです。</p> <p>教員が学校で「命の安全教育」を行うときにも、とても助けになるプログラムです。</p> <p>様々な暴力の未然防止と子どもの心と体を守るために有効であると考え質問いたします。</p> <p>(1) 稲城市において、すべての子ども、保護者、教員や子どもにかかわるおとなが CAP プログラムを受けられるよう、市として予算を計上し実施すべきと考えますが認識を問います。</p>	<p>市長答弁 を求める</p>

通告番号	会派名	氏名
9	新政会	川村 あや

項目番号	質問要旨	摘要
1	<p>コロナ禍での体力低下および運動不足解消・改善について</p> <p>外出自粛などによる運動や移動の機会が減り、運動不足や体力低下・体重増加、いわゆるコロナ太りを感じている人が多いと言われています。</p> <p>運動不足と感じている人は多いものの、感染拡大後に中断した運動やスポーツを再開した人や新しく運動やスポーツを始めた人は少ないという統計もあり、運動不足感がある人は、それを解消するためにもっと運動をする必要があるという自覚は持っているものの、解消方法がわからないといった声も聞かれています。</p> <p>スポーツ庁は、体力・運動能力調査の結果を公表し、小学生から高齢者までの幅広い年齢層で、新型コロナウイルス感染拡大前と比べて体力が低下している傾向が出ていると発表しました。体力の低下がもたらす、健康や精神的な部分への影響も報告されていることから、市民の不安も鑑み質問させていただきます。</p> <p>(1) 市内の運動施設利用状況の推移について</p> <p>(2) 市が主体の運動事業実施状況について</p> <p>(3) 今後の運動機会の創出について</p>	

項目 番号	質問要旨	摘要
2	<p>不妊症および不育症への支援について</p> <p>少子化が進む昨今、その要因の1つとも言える不妊症や不育症の方も増えています。</p> <p>厚生労働省により令和4年4月から、特定不妊治療が保険適用となり金銭面での援助体制が進んできました。更に稲城市では独自の支援として、国では対象外となっていた45歳未満(43.44歳)の方の医療保険適用外となる不妊治療費の助成がスタートしました。</p> <p>不妊症と同じく、赤ちゃんを産めない状況として不育症もあります。不育症とは、妊娠はするものの、2回以上の流産・死産・もしくは1週間以内に死亡する早期新生児死亡等のことです。</p> <p>不妊症・不育症どちらも、肉体的にも精神的にも金銭的にも負担の多いことから、人口増加に伴い平均年齢が下がり子育て世帯が増えている稲城市として、どのように考えていくのか質問させていただきます。</p> <p>(1)不妊症について 全国で約47万人が不妊治療を行っていると言われてます。 不妊治療をする人は年々、増えている中、治療する年齢の上昇も懸念されています。</p> <p>① 市内の申請者数および増減について伺います。 ② 市での対応状況について伺います。 ③ 今後について伺います。</p> <p>(2)不育症について 不育症で悩んでいる人の割合は、妊娠経験者の約4.2%と言われています。 2021年の出生数、約81万人を元に算出すると、患者数は3万人以上となります。 また、不育症の原因は人それぞれですが、検査と治療によって85%もの不育症患者が出産にたどりつくということが、厚生労働省不育症研究班の調べにより分かっています。 つまり、適切な治療をすれば毎年2万5千人以上の赤ちゃんが生まれる見込みがあると言われています。</p> <p>① 市内の患者数および増減について伺います。 ② 市での対応状況について伺います。 ③ 今後について伺います。</p>	

項目 番号	質問要旨	摘要
3	<p>空き家・空き店舗を活用した地方創生の推進について</p> <p>空き家や空き店舗は全国的にも増えて社会問題となっています。地域の活性化に相反する状況は、出来る限り早めに解決策を模索する事が必要と感ずることから、空き家等対策の推進に関する特別措置法の施行に伴い、市としてはどのように考え対応していくのか質問させていただきます。</p> <p>(1)稲城市における空き家・空き店舗の状況について</p> <p>(2)空き家・空き店舗の対策について</p> <p>(3)空き家・空き店舗問題の課題について</p> <p>(4) 空き家・空き店舗の利活用について</p> <p>(5)空き家・空き店舗対策とまちづくりについて</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
10	日本共産党	岡田まなぶ

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>新型コロナ第8波から 市民の生命を守る取り組みについて</p> <p>新型コロナウイルス感染症第8波への対応および、検査、保健所、医療体制の拡充・強化、早期発見と早期治療で市民の生命を守る取り組みを問う。</p> <p>(1) 市内の医療機関、市立病院等、発熱外来（PCR検査）の状況、市PCRセンターの開設、および、東京都の無料PCR検査の状況について。</p> <p>(2) 自主検査でも精度の高い検査が行えるよう、希望する市民に対してPCR検査のキットを無料配布することについて。</p> <p>(3) ワクチン接種の推進および在宅療養者への支援について。</p> <p>(4) 市内の医療機関、市立病院等での職員の検査はじめ、感染拡大防止対策は。</p> <p>(5) 学校、保育園、幼稚園等の教職員の検査はじめ、感染拡大防止対策は。</p> <p>(6) 高齢者・障害者施設などでの職員の検査はじめ、感染拡大防止対策は。</p> <p>(7) 感染した人の救急搬送や市立病院での受け入れ体制について。</p> <p>(8) 保健所、医療体制の拡充・強化、早期発見と早期治療の体制強化について。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
2	<p>国民健康保険税の値上げを抑える取り組みについて</p> <p>(1) 3年間の国保の被保険者数と人口に占める割合、国保加入世帯数と市の世帯数に占める割合は。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症の影響による国民健康保険税の減免の申請と決定の状況は。</p> <p>(3) 国民健康保険の都道府県化に伴う法定外繰入の解消計画について。</p> <p>(4) 新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい暮らしの状況がつづくもとで、令和4年度(2022年度)に続き、令和5年度(2023年度)も国民健康保険税の値上げを行うべきでないとする認識は。</p> <p>(5) 東京都市長会は、東京都が国に国庫負担割合を引上げるよう働きかけることを求めている。高すぎる国民健康保険税のこれ以上の値上げを抑えるためにも、引き続き、国に公費負担を増やすことを求めていくべきとする認識は。</p>	
3	<p>若葉台駅構内エスカレーター設置、ホームドア設置等について</p> <p>(1) 若葉台駅構内のエスカレーター設置を求めるべきとする認識は。</p> <p>(2) 若葉台駅、稲城駅、よみうりランド駅へのホームドア設置を求めるべきとする認識は。</p> <p>(3) 京王線、JR南武線、市内路線バス、iバスなど、痴漢加害を抑止する公共交通機関の対策強化を求めることについて。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
4	<p>補聴器購入助成など高齢期の聞こえの支援について</p> <p>多くの高齢者にとって難聴は身近な問題です。65歳以上の2人に1人が難聴で、生活の質の低下につながるという実態や難聴が認知症のリスクの要因であるという指摘がされている。</p> <p>高齢化社会のもと、加齢性難聴の方への聞こえの支援について問う。</p> <p>(1) 加齢性難聴の方への聞こえの支援の市の取り組みについて。</p> <p>(2) 生活の質を保つうえで、補聴器の使用が重要ですが、金額が高いことが一番の課題となっている。都内の自治体でも高齢者を対象にした補聴器の購入助成が広がっている。</p> <p>市としても、補聴器の購入助成を検討すべきと考えるが認識は。</p>	
5	<p>小中学校特別教室へのエアコン設置について</p> <p>(1) 小中学校の特別教室（図工室など）へのクーラー設置を引き続き求めるが認識は。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
11	市民クラブ	武田まさひと

項目番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>市役所や市立病院のサイバー対策について</p> <p>徳島の町立病院や大阪急性期・総合医療センターでサイバー攻撃により電子カルテなどが使えない被害が発生しました。また、地方自治体においてもインシデントの報告があります。稲城市及び稲城市立病院での個人情報漏洩防止策や医療を守るための対策が重要という立場で質問します。</p> <p>(1) 稲城市の対応策について伺います。</p> <p>① 令和4年3月に「地方公共団体における情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」の改版がありました但其の内容を伺います。</p> <p>② 堅牢なシステムを構築しても、ヒューマンエラーでサーバー攻撃を受ける可能性があります。市としての考え方と実施している対策を伺います。</p> <p>③ ランサムウェアに感染した場合、ファイルが暗号化され、解除用の鍵と引換えに身代金を求められます。この場合の対応を想定しないといけないと思いますが、実質的な対応策や考え方を伺います。</p> <p>(2) 稲城市立病院の対策について伺います。</p> <p>① 現在の利用ネットワークがどのようなになっているのかを伺います。</p> <p>② 外部とのやり取りがあると思いますがセキュリティー対策についての考え方を伺います。</p> <p>③ 堅牢なシステムを構築しても、ヒューマンエラーが怖いとされています。市立病院の考え方と実施している対策を伺います。</p> <p>④ ランサムウェアに感染した場合のことを想定しないといけないと思いますが、考え方と対応策を伺います。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
2	<p>稲城市立病院の Wi-Fi 整備について 市立病院の Wi-Fi 整備の早期実現を望む立場から質問します。</p> <p>(1) 現在の進捗状況について伺います。 (2) Wi-Fi を整備するにあたっての考え方を伺います。 (3) Wi-Fi を整備することで見込まれるメリットと課題を伺います。</p>	
3	<p>太陽光パネルの廃棄処分について</p> <p>再生可能エネルギーの主力として推進されている太陽光発電ですが、発電に用いる太陽光パネルにも耐用年数があります。東日本大震災以降大きく需要が伸びた太陽光発電ですが、太陽光パネルの生産から、再利用や廃棄処分の方法など、使用の全体について、持続可能なサイクルを考えていかなければなりません。2036 年には太陽光パネルの大量処分時代が訪れると予測されていますが、自治体としてもこれに備え、廃棄についての国の動向や技術革新の情報などを研究し備えなければならないと考え質問します。</p> <p>① 稲城市の公共施設の太陽光パネルについて枚数及び総面積を伺います。 ② 稲城市カーボンニュートラル推進住宅設備等導入費補助金で導入した太陽光パネルについて、件数と総面積を伺います。 ③ 事業者が保有する太陽光パネルについて伺います。 ④ 太陽光パネルは、必ず廃棄の時期を迎えますが、寿命を迎えた太陽光パネルの適切な処理などについて、長期的な視野も踏まえて検討すべきと思います。稲城市での基本的な考え方や取り組みについて伺います。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
12	公 明 党	佐藤しんじ

項 目 事 項	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>不登校支援について</p> <p>全国の小中学校で 2021 年度に不登校だった児童生徒は 24 万 4940 人で過去最多となりました。公明党は、スクールカウンセラーの配置促進や教育機会確保法の成立など、不登校対策を一貫してリードしてまいりました。しかし、コロナ禍で不登校の児童生徒が急増している状況を鑑みますと、不登校の子どもたちの学びを支え、進学や就職の希望がかなうような環境づくり等、より一層の対策の推進が必要であると考えます。例えば、愛知県岡崎市の中学校に設置している「校内フリースクール」などは、多様な学びの場として、大変参考になる取り組みであります。</p> <p>(1)稲城市における不登校の現状について伺います。</p> <p>(2)学校としての取り組みについて伺います。</p> <p>(3)教育委員会としての取り組みについて伺います。</p>	

項目 事項	質 問 要 旨	摘 要
2	<p>学校給食を通じた、食事への関心の向上について</p> <p>身体健康に直接影響を及ぼす食事への関心を高めることは、人生 100 年時代を生き行く小中学生の今後の長い人生にとり、とても有益であると思います。そして、学校給食の提供を通じて児童・生徒の食事への関心を高めることは、大変重要な食育であると考えます。</p> <p>(1)全国的な傾向でもあると思いますが、稲城市の学校給食におきましても、ご飯を主食とした和食献立の割合が多いように思います。私の小中学校時代の主食は、主にパンや麺類であったので随分様変わりしましたが、和食を中心とした給食の提供について、市の考えを伺います。</p> <p>(2)毎月の給食献立表を見ますと、ご当地給食や世界の料理、また、地産の食材や姉妹都市の食材、等々、色々と工夫をされたメニューや食材を提供されていることが分かります。このような取り組みを高く評価いたします。この献立には、児童生徒や保護者の意見、要望などが反映されているものなのか伺います。</p> <p>(3)「子どもたちが大人になり、自分で食事を選ぶようになったときに、『お手本にして選んでほしい食事』を常に意識し提供しています。」これは、今年 11 月、公明党市議団で視察に伺った新潟県三条市の、学校給食を提供するにあたっての考え方です。食事において、食品や食材を自ら考えて選択できる力を児童生徒に身に付けてもらうことは、食育の重要な目的の一つだと考えますが、市の認識を伺います。</p>	

通告番号	会派名	氏名
13	新政会	梶浦みさこ

項目番号	質問要旨	摘要
1	<p>日本伝統文化「将棋」の振興について</p> <p>日本の伝統文化「将棋」。多くの市民の方々が生涯学習や文化活動として市施設等を利用され将棋を楽しまれているところです。日本将棋連盟会長の佐藤康光九段と稲城市のご縁を活かし、日本の伝統文化として将棋の普及発展、将棋を通じた地域交流をさらに図っていただきたいと考え質問いたします。</p> <p>(1)市内での将棋に関する生涯学習、文化活動の状況について伺います。</p> <p>(2)日本将棋連盟会長の佐藤康光九段と稲城市との関係やつながりについて伺います。</p> <p>(3)市民文化祭 子ども将棋イベント「佐藤康光九段の多面差し指導対局を受けよう」について</p> <p>令和4年いなぎ市民まつりでも実施された市民文化祭 子ども将棋イベント「佐藤康光九段の多面差し指導対局を受けよう」について、これまでの実施状況と開催に至る取り組みについて伺います。</p> <p>(4)将棋文化振興自治体「全国将棋サミット」について</p> <p>将棋とゆかりの深い自治体が集まる「全国将棋サミット」。日本将棋連盟と開催地自治体の主催により、将棋文化の継承と普及活動を通じて地域の発展を目指す自治体が交流と連携</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>を図る目的で 2014 年から開催されているとのことです。稲城市も参加自治体として後援している将棋文化振興自治体「全国将棋サミット」について伺います。</p>	
	<p>(5) 佐藤九段とのご縁を活かした将棋文化振興の推進について</p>	
	<p>佐藤九段が小学生から中学2年生まで過ごした八幡市(京都府)では、令和4年度「第24回佐藤康光杯争奪戦将棋大会」の開催や東京2020オリンピック聖火リレーランナーをされるなど、市政発展のため佐藤九段にご協力いただいているとのことです。佐藤九段と稲城市のご縁を活かし、日本の伝統文化として将棋の普及発展、将棋を通じた地域交流をさらに図っていただきたいと考えます。佐藤九段のゆかりの地である稲城市として、将棋文化振興自治体「いなぎ」(仮)や将棋のまち「稲城」(仮)など、将棋文化を振興し、将棋文化を活かした施策の展開について伺います。</p>	
	<p>(6) 児童・生徒の将棋文化の普及啓発・振興について</p> <p>競技としての品格、礼儀作法・マナーを重んじ、先を読み考える力を養い、人間としての精神を成長させる教育的効果が期待できるとされる将棋。小中学校のクラブ・部活動や放課後子ども教室・学童クラブ・児童館などでの将棋文化の普及啓発・振興について伺います。</p>	
	<p>(7) ご高齢者の将棋文化の振興について</p> <p>思考力や記憶力を高めるとともに、勝負がかかった対戦での集中力の発揮、対戦相手や将棋仲間との交流の機会になるなど、認知症の予防の効果も期待されることから、市内の高齢者の皆様が集う場や介護事業等において、将棋の対戦が</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>広く行われていることと思います。ご高齢者の将棋文化の振興を推進することについて伺います。</p>	
2	<p>文化芸術活動のさらなる振興とパブリックアートについて</p>	
	<p>(1) 稲城市内で活動する文化芸術活動の団体について 生涯学習として、市内公民館やiプラザなどを使用し文化芸術活動をしている団体の団体数について伺います。</p>	
	<p>(2) 稲城市芸術文化団体連合会と稲城市について 約 50 年にわたり市内での文化芸術活動の振興を担っていた たっている稲城市芸術文化団体連合会について、稲城市との連携・協力について伺います。</p>	
	<p>(3) 音楽・演劇・舞踊等の文化芸術活動の振興について 音楽・演劇・舞踊等による文化芸術活動の日頃の成果を発表する機会 の場として、中央文化センター・iプラザのホール、駒澤学園記念講堂を市民が利用しています。音楽・演劇・舞踊等の文化芸術活動を行う市民が創造性を十分に発揮し尊重されるよう、また、それを鑑賞・参加などし、共に文化芸術の創造活動を育む環境の整備と振興をさらに図ることについて伺います。</p>	
	<p>(4) 美術・写真・メディア芸術等の文化芸術活動の振興と展示機会の創出について 市内の公共施設や自宅・アトリエでの市民の創作活動の成果物の展示機会として、中央文化センターのロビー、iプラ</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>ザのギャラリー、城山体験学習館の展示コーナーなどが利用されていることと思います。さらに文化芸術活動を振興するため、市内の様々な公共施設において展示スペースを増やすなど、美術・写真・メディア芸術など文化芸術活動の振興とその展示機会の創出について伺います。</p>	
	<p>(5) 市内公共施設のパブリックアート情報の集約と提供について</p>	
	<p>南武線三駅の稲城なしのすけ時計台に代表される大河原邦男プロジェクトによる各種モニュメント、5種のデザインマンホール、くじら橋や上谷戸大橋などのデザイン性の高い建築物、城山公園「虹の回廊の壁画」、長峰・光の広場「光のフォーリー(光の彫刻)」、若葉台駅前ロータリー「今日も一日(サクスを吹く人物オブジェ)」など市内には多くのパブリックアートがあります。いなぎキッズページや稲城市観光協会 HP ではパブリックアートが市内にあることが紹介されておりますが、詳細は紹介されていません。市内公共施設のパブリックアート情報を集約し、街歩きやマイクロツーリズム等の観光資源として活用されるよう市ホームページで情報提供することについて伺います。</p>	
	<p>(6) 市内パブリックアートのメンテナンスについて</p> <p>市内公共施設のさまざまなパブリックアートについて、風雨にさらされることにより、その価値を維持するには定期的なメンテナンスが必要となり、市財政への影響が少なからずあることと考えます。しかし、稲城市の魅力をさらに向上するうえで、特に大河原邦男プロジェクトによる各モニュメントは市や市民にとって大事な財産であることから、しっかりとメンテナンスを行い、稲城市の文化芸術活動の振興を図っていただきたいと思いま</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	す。大河原邦男プロジェクトの各モニュメントなど、メンテナンスが必要な場合のパブリックアートの修繕・修理について伺います。	
	(7)文化芸術活動のさらなる振興について 市民の自主的な文化芸術活動を促進することを基本とし、市が文化芸術を振興することにより生み出される様々な価値は、観光、まちづくり、地域・国際的な交流・親交、福祉、教育、商工業などの活性化つなげる施策であると考え、文化芸術活動のさらなる振興について伺います。	
3	稲城市立病院へのサイバー攻撃など医療情報セキュリティ対策の強化について	
	令和4年10月31日の大阪急性期・総合医療センター、令和3年10月31日のつぎ町立半田病院(徳島県)でのランサムウェア(データを暗号化し身代金を要求するコンピュータウイルス感染)によるサイバー攻撃事案が発生し、電子カルテの閲覧・利用ができなくなる等により、地域の医療提供体制に多大な影響が出ているところです。医療機関を攻撃対象とする同種の攻撃は近年増加傾向にあり、その脅威は日増しに高まっていることから、市民の健康と生命を守る市立病院としてサイバー攻撃など情報セキュリティ対策の強化を図っていただきたいと考え伺います。	
	(1)市立病院へのサイバー攻撃等について、その有無とセキュリティリスクへの認識について	
	コンピューターへの不正侵入や不正ソフトウェア混入、情報漏洩、データの改ざんや破壊といったサイバー攻撃に関して、	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	市立病院での被害事例の有無と、損害により被るセキュリティリスクへの認識について伺います。	
	(2) 他の医療機関のサイバー攻撃事例や国・都のサイバー攻撃対策の動向把握について	
	サイバー攻撃により医療情報が暗号化され、復元のための身代金を請求された医療機関など公表されているサイバー攻撃情報の定期的な確認、国・都のサイバー攻撃対策の動向把握について伺います。	
	(3) 市立病院のホームページ等運営上のセキュリティ対策について	
	市立病院のホームページ等ウェブサイトの運営において、サーバやネットワーク機器、ウェブアプリケーションに対する脆弱性検査や診断、監査を実施する等のセキュリティ対策の予防策について伺います。	
	(4) サイバーセキュリティ対策の現状について	
	サイバーセキュリティ対策(コンピューターへの不正侵入や不正ソフトウェア混入、情報漏洩、データの改ざんや破壊といったサイバー攻撃から、情報データを防御する行為の対応状況)の現状を調査、現状に基づいて可能な対策を実施しているか伺います。	
	(5) サイバーセキュリティに関する関係者とのコミュニケーション促進について	
	サイバーセキュリティに関する取組方針を常日頃から職員や委託事業者に伝え、コミュニケーションを図っていただきたいと考えます。市立病院の職員や委託事業者とのサイバーセ	

通告番号	会派名	氏名
14	起風会	中田 中

項目番号	質問要旨	摘要
1	<p>アダプト制度について</p> <p>市民の皆様が、緑地や公園等の公共施設を市の協働管理者として、花植えや清掃活動を行う制度として、市では「稲城市公共施設アダプト制度」事業を実施しているが、市民が主体的に地域の環境美化に取り組むことができる素晴らしい取り組みだと考えている。</p> <p>この活動をこれからも持続可能なものとしていくには、活動の担い手となっている団体の方々との適切なコミュニケーションや支援が必要と考え、市の取組み状況について確認させていただきたいと考え、質問する。</p> <p>(1) アダプト制度の事業目的と、この制度がスタートした経緯について確認したい。</p> <p>(2) 現在のアダプト登録団体の活動状況について確認したい。</p> <p>(3) アダプト制度の課題について市の認識を確認したい。メンバーの高齢化や減少に悩んでいる、新規登録が少なく関わる方が固定化している、というような状況は発生していないのか、確認したい。</p>	
2	<p>小中学校で「いじめ」が発生した時の対応について</p> <p>文科省「2021年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」によると、小中学校のいじめの認知件数は、2020年度はコロナ禍により大幅減少したものの、2021年度は学校や部活動の活動再開に伴い再び増加し、パソコンやスマホ等でのひぼう中傷等の認知件数や不登校者数も増加したそうだが、稲城市では、「いじめ防止対策推進法」に基づき、対策方針を策定しているが、実際にいじめが発生した</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	時、学校および教育委員会は具体的にどのような対応を行うのか確認したいと考え、質問する。	
	(1) 稲城市立小中学校におけるいじめや不登校の発生状況（認知件数、主な原因、解消状況など）について確認したい。（直近2～3年程度）	
	(2) 「稲城市いじめ防止基本方針」の概要について確認したい。稲城市立小中学校では別々に「いじめ防止基本方針」が定められているが、その策定の経緯と、市の方針との関係性についてもお聞きしたい。	
	(3) 稲城市立小中学校でいじめが発生した場合、どのように対応するのか、確認したい。学校内での対応、学校と教育委員会の連携、その他組織（いじめ問題対策連絡協議会、子ども家庭支援センターなど）との連携はどのように行われているのかお聞きしたい。	
	(4) 文科省の調査によると小中学校で最も多く見られるいじめの形態は「からかいや悪口」とのことだが、パソコンやスマホによるひぼう中傷も増加している。メールやSNSによるいじめについて、教育委員会や学校ではどのように対策をとっているのか、また発生した際はどのように対応するのか、確認したい。	
	(5) 不登校発生時も学習を継続するための対応として、GIGAスクール端末を活用したオンライン授業は有効だと考えるが、教育委員会の考え方と、各学校における取り組み状況について確認したい。	
3	一時預かり保育の対象年齢について	
	<p>これまで一時預かり保育は、勤務が不規則な家庭の「保育園の代替」や保護者急病時の「緊急対策」の位置づけが主だったが、近年は育児ストレス軽減のための「リフレッシュ目的」も多いと聞く。</p> <p>核家族化が進み、ちょっとした息抜きをしたくても預け</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>先が無い、という家庭も増えていることが予想され、0歳児でも緊急対策やリフレッシュが必要な家庭も多いと考える。そのため、一時預かり保育の対象年齢がなぜ1歳以上からになったのか、その経緯と対象拡大のボトルネックを確認するため、質問する。</p>	
	<p>(1) 一時預かり保育事業の概要と対象年齢が1歳以上となった経緯について確認したい。</p>	
	<p>(2) 対象年齢の下限を0歳児まで拡大する場合、何がボトルネックになるのか、確認したい。</p>	
4	<p>災害用炊飯袋について</p>	
	<p>災害用炊飯袋とは、湯せんで調理ができる熱に強いポリ袋であり、食材を中に入れた袋ごと鍋に入れて調理する。普段使いの食材を、鍋や中の水を汚さずに調理でき、保管の際もかさばらない、防災備蓄品である。</p> <p>最近ではローリングストック（日常備蓄）の浸透により、普段使いの食材を備蓄食糧とする家庭が増えている。（米・水・カセットコンロなどの備蓄に加え）災害用炊飯袋があれば、最小限の水で炊飯することができ、更に米以外の調理も可能となる。</p> <p>ローリングストックを推奨するのであれば、災害用炊飯袋の有用性も広めるべきと考え、質問する。</p>	
	<p>(1) 災害用炊飯袋を市の防災備蓄品とすることについて、市の考えを確認したい。</p>	
	<p>(2) 在宅避難とローリングストックを推奨するのであれば、災害用炊飯袋（もしくは同等のポリ袋）も備蓄するよう推奨すれば、米以外にも様々な料理を調理することが可能となる。これについて市の考えを確認したい。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
15	日本共産党	田島きく子

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>生理の貧困について 今、「生理の貧困」が、急速に注目を集めるようになって います。世界各地で「生理の貧困」をめぐる、大きな うねりが起きており、制度や法律を変えるほどになって います。経済的な貧しさや格差の問題だけでなく、「女性 全体にかかわる不平等」として捉える立場から質問しま す。</p> <p>(1) 生理の貧困についての考え方について ①「生理の貧困」に対する認識をききます。</p> <p>(2) 学校のトイレへの生理用品の常備について ①保健室に生理用品を取りにくることにより貧困やネ グレクトが把握できたケースについてその件数や概要 をききます。 ②生理用品の学校トイレへの常備にあたって必要な経 費総額の検討状況についてききます。</p>	
2	<p>小中学校における教育相談について 不登校をはじめ教育相談の件数がふえています。稲城市 の教育相談体制について、子どもたちの気持ちに寄り添 っていくことを求める立場から質問します。</p> <p>(1) これまでの教育相談の取り組みについて ①教育相談の体制についてききます。 ②今年度の主な相談内容についてききます。</p> <p>(2) 今後の教育相談の取り組みについて ①市民から「教育相談を受けるのに時間がかかり過ぎ る」という声があがっていることから、相談体制を強化 する必要があると考えるが、市の認識をききます。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
3	<p>市施行土地区画整理事業について</p> <p>(1) 矢野口駅周辺土地区画整理事業について</p> <p>①事業の進捗状況についてききます。</p> <p>②事業の完成時期についてききます。</p> <p>③事業推進のためには地権者との合意形成が重要であると考えるが認識をききます。</p> <p>(2) 稲城長沼駅周辺土地区画整理事業について</p> <p>①事業の進捗状況についてききます。</p> <p>②事業の完成時期についてききます。</p> <p>③事業推進のためには地権者との合意形成が重要であると考えるが認識をききます。</p>	
4	<p>少人数学級の推進について</p> <p>(1) 現在の学級人数について</p> <p>①今年度の稲城市立小学校の平均学級人数と最高の学級人数についてききます。</p> <p>②今年度の稲城市立中学校の平均学級人数と最高の学級人数についてききます。</p> <p>(2) 今後の少人数学級の推進について</p> <p>①稲城市立小学校の少人数学級の今後の進め方についてききます。</p> <p>②稲城市立中学校の全学級においても少人数学級が必要だと考えますが認識をききます。</p>	
5	<p>気候変動と再エネ・省エネ推進について</p> <p>(1) 市内における二酸化炭素排出量の測定状況と分析内容についてききます。</p> <p>(2) 東京都環境公社発行の「再エネ設備導入支援ガイド」の内容と市としての活用状況についてききます。</p> <p>(3) 今冬の電力需給の見通しと市としての対応についてききます。</p>	

通告番号	会派名	氏名
16	市民クラブ	いそむら あきこ

項目番号	質問要旨	摘要
1	<p>稲城市シルバー人材センターについて</p> <p>シルバー人材センターは、高齢者が生きがいを持てる働く場の斡旋・提供とともに、近年多様化している雇用状況、社会ニーズに対応するなど、地域の中で重要な役割を担っています。その一方で、全国のシルバー人材センターにおいて、庭木の剪定や草刈りなど、リスクが高い野外の作業で重篤な事故が相次いで起きているといった報告もあります。会員が安心して就業できるよう安全対策は急務の課題であると考えます。また、令和5年10月から、複数税率に対応した適格請求書保存方式いわゆるインボイス制度が導入される予定で、シルバー人材センターも対象であることから、様々な課題が生じることが想定されます。</p> <p>そこで、稲城市シルバー人材センターの安全対策とインボイス制度の影響について伺います。</p> <p>(1) 稲城市シルバー人材センターに求められる役割について伺う。</p> <p>(2) 過去5年間の稲城市シルバー人材センターの会員数と平均年齢について伺う。</p> <p>(3) 就業中の安全対策について</p> <p>①過去5年間の就業中における事故の発生内容と件数について伺う。</p> <p>②シルバー人材センターは会員と雇用関係がないため安全配慮義務がなく、労災保険も適用されない。会員登録する際に加入する民間の傷害保険の補償内容について伺う。</p> <p>③就業中の安全対策の取組みについて伺う。</p> <p>(4) インボイス制度の影響について</p> <p>①インボイス制度の概要について伺う。</p> <p>②稲城市シルバー人材センターの運営や会員への影響について伺う。</p> <p>③本市においても様々な事業において、稲城市シルバー人材センターへ業務委託などをおこなっているが、想定される影響について伺う。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
2	<p data-bbox="305 264 972 313">幼稚園バスの安全対策について</p> <p data-bbox="305 369 1238 840">昨年、福岡県中間市の私立保育園に通う園児が送迎バス内に取り残され死亡した事故に続き、今年も静岡県牧之原市の認定こども園において、園児が送迎用バス内に取り残され、死亡する事故が発生しました。その後も子どもが送迎バスに取り残されるといった報道が後を絶ちません。政府は、2023年4月から全国の保育所や幼稚園などの送迎バスを対象に、安全装置の設置を義務付けることなどを盛り込んだ再発防止へ向けた緊急対策を決定しました。そこで、市内の幼稚園バスの安全対策について伺います。</p> <p data-bbox="305 907 1238 1131">(1) 国が幼稚園バスの安全対策として、「保育所、幼稚園、認定こども園及び特別支援学校幼稚部におけるバス送迎に当たっての安全管理に関する緊急点検及び実地調査の実施について」を都道府県等に対し通知しましたが、その内容について伺う。</p> <p data-bbox="305 1198 1238 1332">(2) 現在、国において、送迎バスに安全装置の設置を義務付けることなどの再発防止の取組みが検討されているが、その内容について伺う。</p> <p data-bbox="305 1388 1238 1478">(3) 市として、今後の幼稚園バスの安全対策について、どのように取り組むのか伺う。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
3	<p data-bbox="305 264 1136 313">学校でのマスク着用と黙食の緩和について</p> <p data-bbox="297 369 1246 896"> コロナ禍により、日本では社会全体が「マスクをすることが当たり前」のようになり、人の目が気になるなど、感染対策とは別の理由で、マスクを外せない大人も多くいます。子どもにおいても、マスクを着用し続けることで、「苦しい」「頭が痛い」という悩みなどを抱えながら学校生活を過ごしている子どもも少なくありません。また、大人と同様に周りの目が気になり、マスクを外せる場面においても、外せない子どももいます。楽しいはずの給食の時間も黙食が当たり前となり、子どもたちは多くの場面で我慢を強いられている状況です。子どもたちが少しでもマスクを外せる場面が増やせるよう、また黙食の緩和ができるよう取り組むべきと考え、以下について伺います。 </p> <p data-bbox="297 952 1066 996">(1) 市内小中学校でのマスク着用の指導について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="329 996 1230 1086">① 現在、子どもたちに対してマスク着用についてどのような指導がされているのか伺う。 <li data-bbox="329 1086 1230 1176">② マスク着用の有無により、差別や偏見が生じることがないよう、具体的にどのような指導がされているのか伺う。 <li data-bbox="329 1176 1230 1265">③ マスク着用の考えについて保護者や地域住民などへの周知について伺う。 <p data-bbox="297 1332 713 1377">(2) 学校での黙食について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="329 1377 1230 1512">① 文部科学省が作成している衛生管理マニュアルにおいて、「給食等の食事をとる場面」での、感染症対策については、どのようなことが書かれているのか伺う。 <li data-bbox="329 1512 1230 1713">② 「稲城市立学校における 新型コロナウイルス感染症に関する 衛生管理等ガイドライン」での、給食の時間の感染症対策については、どのようなことが書かれているのか伺う。 <li data-bbox="329 1713 1230 1859">③ 「稲城市立学校における 新型コロナウイルス感染症に関する 衛生管理等ガイドライン」について、国の衛生管理マニュアルに合わせて見直すべきと考えるが認識を伺う。 	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
4	<p data-bbox="305 273 838 318">インクルーシブ公園について</p> <p data-bbox="305 380 1246 750">今後、吉方公園が区画整理事業により、インクルーシブ公園として整備されることで、あらゆる子どもや大人にとって居心地がよく、お互いの多様性やつながりを自然に感じられる地域の交流拠点となることが期待されます。また、公園の整備はゴールではなく、完成した遊び場が、多様な子どもを含む様々な人たちに利用され続けることも大切です。そのためには、ハードと合わせてソフトの取組みも必要不可欠であると考え、以下について伺います。</p> <p data-bbox="305 817 1168 851">(1) 吉方公園改修整備協議会(ワークショップ)について</p> <p data-bbox="337 862 1121 952">①これまでの取組み内容について伺う。 ②今後のスケジュール及び取組み内容について伺う。</p> <p data-bbox="305 1008 1223 1187">(2) 本当の意味での「インクルーシブな公園」を実現するためには、ハードだけではなく、積極的な情報配信や遊びのプログラムの提供、プレーリーダーの配置などソフトの充実も必要だと考えるが認識を伺う。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
17	改革稲城の会	榎本 久春

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	稲城第二中学校の校舎改修工事の現状と周辺環境の変化に伴う歩道の整備状況について	
	<p>稲城市立稲城第二中学校が創立50周年を迎え、先日盛大に記念式典・祝賀会が開催されました。坂浜・平尾地区には多くの卒業生がおり、私もその一人になります。歴史ある学校となっています。現在は、全校生徒282名の9クラスと学校としては小規模となっておりますが、1986年、昭和61年には全校生徒1,011名の24クラスと他地区の学校と変わりのない規模の学校でもありました。現在、坂浜・平尾地区の区画整理事業の効果もあり、生徒数が増え始めています。その様な様々な歴史とともに校舎も学校教育を支え、50年の経過とともに老朽化してきている部分もあります。また、歴史とともに周辺環境も著しく変化が見られ、通学路についても安全面や利便性が図られてきておりますが、課題の残っている場所も残されています。その様な背景から、校舎改修工事が進められようとしておりますので現状についてと、課題の残っている歩道の整備の状況について伺います。</p>	
	(1) 校舎改修工事の現状について伺います。	
	(2) 今後のスケジュールについて伺います。	
	(3) 学校前南側の学園通りにおける日本大学敷地内の歩道の設置について認識を伺います。	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
2	市内の落書き対策について	
	<p>最近、商店街のシャッターや農産物の直売場のシャッターに多くの落書きが見受けられるように感じています。個人や商工会などからも警察に対して被害届が出ているのかとも思いますが、消されないまま残っているような場所もあるように感じます。市内でもトンネルが増えトンネル内の落書きや公園、道路際のり面の擁壁などの落書きに対して対応されてきていると思いますが、このような民間のシャッターなどの落書きに対する対応も市内の安心・安全に繋がると考えます。環境の悪化による、犯罪防止の観点からこうした被害を防ぐための対策をすることが必要と考えます。市の落書きに対する対応について伺います。</p>	
	(1) 市内に落書きがみられるが、市の認識について伺います。	
	(2) 過去の落書きに対する対応について伺います。	
	(3) 民有地の落書きについて伺います。	
	(4) 今後の対策について伺います。	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
3	「介護予防・日常生活支援総合事業」の一般介護 予防事業の自主グループとフレイル対策につい て	
	<p>一般高齢者を対象に介護予防の事業として取 り組まれている自主グループ活動については、高 齢者が積極的に参加することにより、家での閉じ こもり予防や体力や筋力の低下予防、食欲低下予 防など適切な栄養摂取や運動によって、健康な状 態を取り戻すことも可能な重要な役割を担って います。新型コロナウイルス感染症の影響もあ り、介護予防の事業を積極的に推進することが求 められると考えます。また、介護予防事業には、 高齢化に伴う医療や介護などにかかる社会保障 給付費の伸びを抑制することも期待され、高齢者 が自立した生活を続けられれば、社会を支える担 い手としても活躍できます。筋力などの身体機能 が低下し、心身ともに弱ってきた状態を予防する フレイル対策は、今後の超高齢化に向けて重要な 施策になると思います。一般介護予防事業の自主 グループとフレイル対策について伺います</p>	
	(1) 一般介護予防事業の自主グループ化に向 けての取り組み内容について伺います。	
	(2) 一般介護予防事業の自主グループの現状と 過去5年間の実績について伺います。	
	(3) 自主グループが継続的に活動しやすい取 り組みについて伺います。	
	(4) 高齢者のフレイル対策について伺います。	

通告番号	会派名	氏名
18	起風会	鈴木 誠

項目番号	質問要旨	摘要
1	<p>防災に関する稲城市の取り組みについて</p> <p>これまで、一般質問や各種委員会での質疑等で、過去に検討されていた民間への給油に頼らないことや、市独自の緊急時に備えたガソリンの備蓄や、発電・充電等について確認をしてきたが、</p> <p>(1) 価格高騰が著しいガソリン、軽油、灯油等の燃料備蓄について</p> <p>①稲城市が備蓄しているガソリン、軽油、灯油等の貯蔵量(最大値と場所)について伺う。</p> <p>②これら燃料等については、どのタイミングでどのような業者から、どの程度の単価であると積算して購入しているのか伺う。</p> <p>(2) 電気自動車等バッテリーの活用について</p> <p>各家庭の電気自動車から充電するための機器導入補助については平成30年第4回定例会でも質疑させていただいた。その後、経済産業省と国土交通省が連携して電動車の災害時における移動式電源としての活用促進を促す「災害時における電動車の活用促進マニュアル」を策定、稲城市においても本年4月からはOpenStreet株式会社との間でシェアサイクルとして市内に配置されている電動アシスト自転車バッテリーを避難所での携帯機器充電に活用する協定が結ばれているが、</p> <p>①平成31年度から導入されている庁用車(電気自動車)の活用状況を伺う。</p> <p>②当市近隣の福生市や国立市、立川市等では「災害時における電動車両等の支援に関する協定」をトヨタS&D西東京株式会社と結ばれているが、上述のシェアサイクルバッテリー活用に重ねて、さらにこうした企業との連携も有効な手段ではないかと考えるが、市の見解を伺う。</p>	

2	<p><u>稲城市における私学教育への関わりについて</u></p> <p>三年前、令和元年10月から幼児教育・保育の無償化の新制度が開始されたことは大きな変化であったが、『幼保』間には様々な差異があることはこれまでも取り上げてきた。</p> <p>(1) 幼保間における公的扶助の差について</p> <p>①児童1人あたりに対する公的資金の投入について現在も差があるか、またその差をどのように捉えて是としているか伺う。</p> <p>②市内にある幼稚園・保育園の数と、双方の通園児の人数と割合(3～5歳児)を伺う。</p> <p>(2) やむを得ず私立通学を選ぶ家庭について</p> <p>①適応障害等、市立小学校のプログラムでは対応が難しく、やむを得ずに私学を選ばれる場合にどのような助けが出来るか伺う。</p> <p>②コロナでの家計急変、多子世帯への所得制限等、子供を私学に通わせる市民の多くが頭を抱えている実情を聞くが、こうした市井の状況をどう把握され、東京都や国等へ伝え、働きかけているか伺う。</p>	
3	<p><u>公共施設運営の民間委託化について</u></p> <p>市立中央図書館や市立iプラザ等、PFI事業の展開をしてきている。また、学童クラブの民営化等も積極的に行っているところであるが、</p> <p>(1) 今後の民営化方針について</p> <p>①公民館や文化センター等、既存の施設についても将来的な民営化が考えられているか伺う。</p> <p>②民営化にはメリットデメリット両面が、特に利用者らの心情に不安をもたらすが、そうした変化の際にはどのような説明をし、従来から不利にならないような仕様にするものか伺う。</p> <p>③もし民間に委託する場合になった時、当該施設が老朽化していることも想定される。その委託にあたって設備改修等は計画・実施すべきことであると考えるが、市の認識を伺う。</p>	

平尾団地の今後について

昭和43年3月に都市計画決定がなされた平尾中央地区であるが、それから半世紀余りが経過し、本年には『平尾団地再生基本構想図』の検討・作成に着手していただいている。今後の向陽台地区や長峰地区、さらには若葉台地区まで見越した市内初の再生モデルケースになることでも注目されているが、

(1) 現在の進捗と、各種課題に対する打ち手について

①「平尾団地の将来まちづくり構想」実現に向けた検討状況はどのようになっているか伺う。

②商業施設誘致について、センター地区と隣接させ、駐車場問題等も含めた解決は可能であるか、実現性を伺う。

③平尾自治会館（建て替え含む）から現39号棟角の平尾小学校通りとの丁字路まで、道幅を拡幅することは可能であるか伺う。

(2) 都市計画、用途地域の変更について

①都市計画を決定するのは都道府県又は市町村とされているが、同団地については何処が決定主体となり協議など必要なことは何か、伺う。

②平尾中央地区地区計画の一団地解除に続き、今後の団地の再生計画内容によっては用途地域指定、建蔽率・容積率を変更することは可能であるか伺う。

(3) 市有地（行政財産含む）の利活用について

①近隣公園等も含めた計画として考える抜本的な平尾中心地区の再構想、公園敷地を換地に含むことで建設の玉突き工事方式を可能にして建て替えに伴う一時的転居などの負担を減らすような取り組みは可能であるか伺う。

(4) 建て替えに向けた段取りについて

①建て替えに向けては当該住民権利者を含めて、社会的合意を図ることが必要不可欠であるが、そこに至るまでの段取りについて伺う。